

## 川越市都市計画マスタープラン見直し意見交換会(川鶴地区)の結果について

### 〈意見交換会の概要〉

1. 開催日時 令和5年11月7日(火)午後2時30分～4時00分
2. 開催場所 川鶴公民館
3. 参加者 9名

### 〈項目別意見と市の考え方〉

いただいた主な意見を次のとおり項目別に分類し、市の考え方を記載しています。

#### 項目1 まちづくりのキャッチフレーズ

No.	意見
1	現マスでは川鶴のキャッチフレーズはなかったが、どのような考えでこの文言になったのか。
2	地区住民の意見は入っていないのか。
3	吉田新町は高齢化率が高いにもかかわらず、自治会館が町外にあるため、アクセスが悪い。身近にないと「快適に暮らせる」とは言えないのではないのか。
4	小畔水鳥の郷公園の中の半島にカワウが多く飛来し、木が糞などで白くなっているため、景観が悪くなっている。キャッチフレーズに「緑のまち」と入れるのであれば、そういった問題をどう対処していくのか考えていただいて反映していただきたい。

#### 【市の考え方】

川鶴地区は今回新たに地域別構想を策定したため、行政案として川鶴地区の現状等を踏まえ作成しています。例えば、「快適に暮らせる」は良好な住環境の維持保全されていることや公共交通の充実度、「緑のまち」は緑あふれる笠幡公園等をイメージし、作成しました。いただいたご意見を踏まえ、引き続き検討してまいります。

## 項目2 まちづくりの目標

No.	意見
1	日常生活に必要な施設とは何か。
2	公共交通を充実とあるが、吉田新町経由のバス路線が朝夕1本ずつになった現状がある。
3	吉田新町から川鶴公民館までの移動手段がないのに、「公共交通の充実したまちづくり」はおかしい。
4	川鶴団地～鶴ヶ島駅のバスの本数が多いが、家からバス停が遠いので、「公共交通が充実」とは言えないのではないか。

### 【市の考え方】

本マスタープランの一部として位置づけられる川越市立地適正化計画では生活密着型の都市機能施設としてスーパー、コンビニ、保育所、介護施設等が記載されています。また、当地区には、鶴ヶ島駅から伊勢原団地や川鶴団地行きのバス路線があり、公共交通は比較的充実していると認識しております。なお、公共交通のさらなる利便性向上については、個別の政策分野に係る検討課題として、検討・対応してまいります。

## 項目3 全般的なもの

### 〈鶴ヶ島駅の利便性向上〉

No.	意見
1	鶴ヶ島駅の西口ロータリーでは一般車が乗降できないのでスペース作ってほしい。バスで利用している部分を自家用車の利用スペースとして活用できないか。
2	鶴ヶ島駅の西口ロータリーに一般車用のスペースができしまうと自家用車の利用が増えて渋滞等の問題も出てくるのではないか。

### 【市の考え方】

地域別構想改定素案〔(2)道路・交通体系の方針①〕にも記載のとおり、交通結節点である鶴ヶ島駅の利便性向上について、関係各課等と連携し、引き続き検討を進めてまいります。